

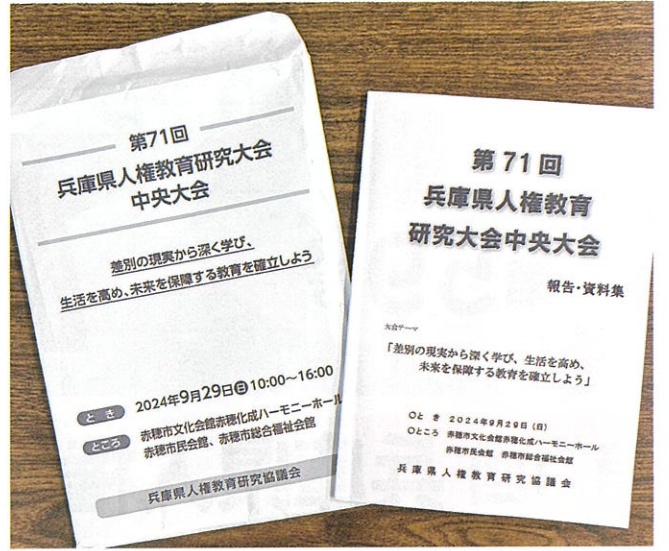
# 第71回 兵庫県人権教育研究大会中央大会 に参加しました



**日時** 9月29日(日) 10:00～16:00 **場所** 赤穂市文化会館 ほか

丹波市から45人が参加しました。午前の全体会は、赤穂市ジュニアバンドの演奏に始まり、開会行事、特別報告と続きました。特別報告では、姫路市スタディーサポーター城東町補習教室代表の金川香雪さんが「多文化共生を考える～私が出会った外国につながる子どもたち～」の演題でお話をされました。「外国にルーツのある子どもたちの現状として、言葉のハンディが生活のハンディとなり、高校進学の際に、学費や学力の壁に阻まれ、夢を諦めざるを得ないケースがある。」「外国人を労働者として見るのではなく、日本を支える隣人として見なければいけない。共生とは、支え支えられる関係だ。」という内容でした。

午後は12の分科会でそれぞれ2つの報告がありました。丹波市から報告、司会をしていただいた4人の皆さん、ありがとうございました。



## 市同教 研修会の報告

### 【学校教育人権研修会】 ■ 8月1日(日) ■ 水上住民センター

**演題** 「教科書の中の部落問題 ～その大きな変化から考えること～」

**講師** 上杉 聡さん(じんけんSCHOLA共同代表)

賤民廃止令(解放令)から150年、全国水平社創立から100年経ってもなくならない部落差別。その歴史の研究が始まったのは1970年ごろ。1975年ごろから学校の教科書に部落問題が書かれるようになった。現在の社会科の歴史分野の教科書には「庭造り」「身分制」「附分け」「洪染一揆」「廃止令」「水平社」「憲法」「差別撤廃」について記述されている。研究の過程で江戸時代の身分制度の表記に間違いがあることがわかり改訂された。などについてお話がありました。最後に、人権を学ぶことはすべての人が安心して優しく過ごしていくことにつながると締めくくられました。

部落史の研究によって、今後さらに教科書の内容が確かなものになるので、先生たちも児童、生徒にしっかり教えてほしいという上杉さんの思いを感じることができました。50人を超える参加者は皆熱心にメモを取りながら聴講されていました。



### 講演会 丹波市 人権ゆかりの地探訪 ■ 8月22日(日) ■ 春日住民センター

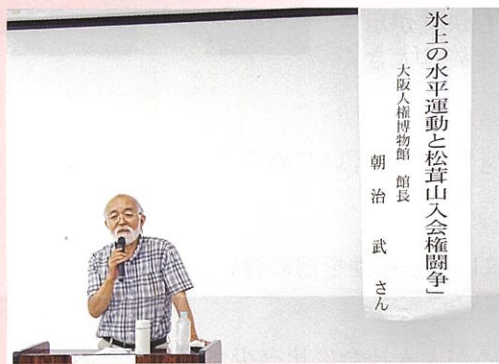
**演題** 「水上の水平運動と松茸山入会権闘争」

**講師** 朝治 武さん(大阪人権博物館館長)

参加対象は、市内の小・中・県立学校の教職員と参加を希望された市民の方々です。参加者は想定を上回り60人近くになりました。

1922年の全国水平社創立(3月3日)と兵庫県水平社創立(11月26日)に続いて、1925年9月26日に柏原町の水上公会堂で水上郡水平社が創立された際の決議文や創立に至るまで経緯などについて資料や新聞記事などを見ながら説明を聴きました。

そして、その後の差別事件をめぐって水上郡水平社と兵庫県清和会水上郡支部などの有力者たちの努力による解決が高く評価されたことや、松茸山入会権にまつわる差別事件の解決に向けた闘争の展開と帰結についてお話を聴くことができました。



### 【第1回 社会教育人権研修会】 ■ 6月21日(金) ■ 柏原住民センター

**演題** 「無関心でいられても無関係ではられない人権問題」

**講師** 松村 元樹さん(公益財団法人 反差別・人権研究所みえ 常務理事兼事務局長)

市同教の社会教育分野の部会員と理事など68人が参加されました。差別問題の基礎基本として、「たいていの人が無意識の偏見や思い込み(アンコンシャスバイアス)をもたされている」「差別は、たいていが悪意なき、差別的意図なき人たちが日常の場で起こす社会問題(マイクロアグレッション)」「差別は、結果、の問題であり、自分が差別したか否かを自分で判断することは困難」「差別などを見ないし聞かないから差別はないと、個人的実感だけで判断するものではない」「人権問題を『思いやりや優しさ』だけで解決することは不可能」「差別解消の責任をマイノリティに課してはならず、マジョリティが解決すべき問題」などを、具体的な例を挙げてお話していただきました。



### 【第2回 社会教育人権研修会】 ■ 9月13日(金) ■ 柏原住民センター

**演題** 「ハンセン病家族の思い ～問われているのは誰ですか～」

**講師** 黄光 男さん(尼崎市職員/ハンセン病家族訴訟原告団副団長)

家族がハンセン病に罹患したことにより、幼いころから両親や兄弟姉妹と離れて暮らさざるを得なかった経験をもとにお話されました。「明治末期からの『癩(らい)病』に関する法律により、ハンセン病患者を隔離する『無らい県運動』が各地で展開され、地域社会にハンセン病に対する偏見・差別や忌避感、排除意識が定着した。約90年後の1996(平成8)年にこの法律は廃止され、熊本地裁で国家賠償請求訴訟が始まった。2019年に原告勝訴の判決が下されたが、ハンセン病家族の被害は払しょくされず、現在も約800人が全国の療養所に残されているなど課題が多い。」という内容でした。講演の最後には、自作の歌「閉じ込められた生命」などをギターで弾き語りして披露され、ハンセン病家族の思いを訴えられました。



### 【第3回 社会教育人権研修会】 ■ 9月19日(日) ■ 柏原住民センター

**演題** 「インターネットによる人権問題」 **講師** 川嶋 将太さん(丹波篠山市企画総務部法務専門員/弁護士)

丹波篠山市でのインターネット上の動画削除の対応事例を中心にお話されました。「2020年10月、市内の自治会から市の担当課を通じて、部落差別を拡散助長する動画がインターネット上に投稿されているとの相談を受けた。そこですぐに市長に報告し、動画を削除するための法的手続きを迅速に進めた。結果、短期間で削除されるに至った。その過程で困難な局面もあったが、自治会と市が連携して行動したことがよかった。このような差別行為の事前予防には、人権教育とその啓発活動が重要だ。」という内容でした。



長年の知識と確かな技術と  
自由な発想—  
新しい業務スタイルを提案します。

**防犯カメラ**  
防犯設計から  
施工まで  
徹底サポート!  
安心と安全の  
ために

**オフィス全体のセキュリティ対策**  
○情報漏えい ○不正アクセス  
○なりすまし ○迷惑メールブロック等  
○データ改ざん等ブロック  
UTM(総合脅威管理プラットフォーム)  
Unified Threat Management

株式会社 ユニットシステム  
UnitSystem Corporation  
https://www.unitssystem.jp  
E-mail: info@unitssystem.jp

日本の旅/世界の旅 予約受付中  
あなたの旅を応援します!

- 団体旅行・グループ旅行・個人旅行などお気軽にご相談下さい
- JTB・近畿日本ツーリスト・日本旅行などの海外パック旅行/国内パック旅行の手配
- 宿泊のみの手配や食事・観光施設の手配も行います
- 貸切バス・航空券・JR券・フェリー券など各種船乗券の手配も行います
- 格安海外航空券・海外のホテルの手配・パスポートの代理申請  
(1週間無料です) など幅広いご要望にお応えいたします

○お申込み・お問い合わせ  
丹波市柏原町(柏原 JR柏原駅構内)  
お車でのご来店は駅前ロータリーまたは新都市営駐車場  
(1階無料です)をご利用ください

関西旅行社 TEL (0795) 72-0325 FAX (0795) 72-2416  
E-mail: info@kansairyoko.co.jp

JTB Your Global Travel Partner  
L'OK JTB  
kncl  
日本旅行

地域に笑顔を(^)/  
株式会社橋本電設 スポーツ事業部

ピュアスポーツ柏原  
あなたの夢を叶えます。

柏原町大新屋449  
PSK ☎73-0102

編集後記  
「全国水平社」設立の3年後に「水上郡水平社」が設立されてから来年で100周年を迎えます。その間、解放運動や法整備によって人々の人権意識は高まったとされる一方で、近年はインターネットによる差別的な発言が増加傾向にあります。このような中、兵庫県人権啓発協会の企画で「ネット社会における部落差別と人権」をテーマとした人権啓発映像「大切なひと」が作成されました。市同教でも今年度の研修で活用しています。

丹波市人権・同和教育協議会 (tambashi-doukyou.jp)